

平成 21 年1月 22 日

各 位

会社名 アールビバン株式会社  
代表者名 代表取締役社長 野澤 克巳  
(JASDAQ・コード 7523)  
問合せ先 経営企画室マネージャー 中島 章裕  
電話番号 03-5159-7177

業績に影響を与える可能性のある事象の経過、  
株式会社ワールド・ウェルネス・ワンダーランド株式譲渡及び  
特別損失の発生に関するお知らせ

平成 20 年 12 月 17 日発表の「業績に影響を与える可能性のある事象の発生について」においてお知らせいたしました事象につきましては、お客様、投資家の皆様及び市場関係者の皆様には多大なるご迷惑とご心配をおかけすることになり、ここに深くお詫び申し上げます。現在、内容の詳細、影響金額を含め真相解明の為、鋭意精査途中ではありますが、現時点における経過につきまして、取り急ぎ下記の通りお知らせいたします。

また、当社及び当社の子会社であるタラサ志摩スパアンドリゾート株式会社は、平成 21 年1月 22 日開催の取締役会において、タラサ志摩スパアンドリゾート株式会社が所有していた、株式会社ワールド・ウェルネス・ワンダーランド(以下「W社」)の全株式の譲渡を決議し、その譲渡に伴い特別損失が発生いたしますのでお知らせいたします。

記

1. 現時点における経過報告

平成 20 年 12 月 17 日発表の「業績に影響を与える可能性のある事象の発生について」にてご説明いたしました通り、平成 20 年 10 月、タラサ志摩スパアンドリゾート株式会社は、M&A 仲介会社より紹介され、(当時 W 社の親会社であった)株式会社コム・プロジェクト提出の、W 社・平成 21 年2月期中間決算書及び事業計画書等に基づいて、お台場にて運営の『エステワールド』店舗や、その後の多店舗展開によって、当社グループ既存施設とのシナジー効果が期待できると判断し、W 社の第三者割当増資を引受け、当社グループより役員を派遣いたしました。

しかしながら、その後の当社の調査により、誠に遺憾ながら、増資引受けの際に、株式会社コム・プロジェクトより提出された W 社・平成 21 年2月期中間決算書及び事業計画書等に疑義が生じ、W社に派遣した役員全員が平成 20 年 12 月 17 日付で辞任したものであります。その後、当社は、株式会社コム・プロジェクトに対し、平成 20 年 12 月 22 日付で平成 21 年2月期中間決算書の会計処理に関する疑問点を質問状として送付いたしました。平成 21 年1月5日付で回答書を受領しており、現在精査中であり、特に現段階において新たに発覚した事象はございません。

当社グループは、本件の全容を解明するために、本日付で社内調査委員会を設置いたしました。社内調査委員会は、常務取締役管理部長を委員長、子会社取締役を副委員長に、以下、経営企画室、経理の4名を委員とします。また、社内調査委員会の調査の妥当性・相当性を検証するため、弁護士等で構成される調査委員会を設置する予定です。

株式会社コム・プロジェクトに対しては、上記内容を勘案した法的措置も視野に入れ、検討するものであります。

## 2. 株式譲渡について

このような状況に至った経緯を勘案しますと、当社グループとしましては、W社の株式を所有したものの、このように信頼関係が失われた状態で、共同して事業を行うような経営参画を存続していくことは難しい状況の中、当社グループ既存施設とのシナジー効果を期待するよりは、株式譲渡により早期に既存事業へ経営資源を集中させる必要があると判断し、譲渡先の選定を進めてまいりました。このたび譲渡先が決定したことから、W社の全株式を譲渡することといたしました。

今後も、鋭意調査を継続し、真相を解明すべく取り組みを進めてまいり所存であり、W社の株式譲渡は、真相解明後といたします。

当社としましては、平成20年10月の当該会社による第三者割当増資引受け以降、短期間で多額の損失を発生させる結果になり、投資家の皆様及び市場関係者の皆様に多大なご迷惑とご心配をおかけしたことを深くお詫び申し上げます。当社ではこのような結果になった原因を検証し、今後再発を防ぐべく対応していく所存でございます。

## 3. W社の概要

- |          |   |
|----------|---|
| (1) 商号   | 株式会社ワールド・ウェルネス・ワンダーランド  |
| (2) 代表者  | 代表取締役 田嶋 栄  |
| (3) 所在地  | 東京都港区南青山5丁目16番14号   |
| (4) 事業内容 | 美容サロン企画、運営管理  |
| (5) 資本の額 | 100百万円 (タラサ志摩スパアンドリゾート株式会社 75%所有)<br>(株式会社コム・プロジェクト 20%所有 その他 5%所有) |

## 4. 株式の譲渡先

- |            |                     |
|------------|---------------------|
| (1) 氏名     | 朝倉 久雄               |
| (2) 住所     | 埼玉県朝霞市              |
| (3) 職業     | 株式会社ディフェント 代表取締役    |
| (4) 当社との関係 | 株主、取引先(保険契約等)の代表取締役 |

## 5. 譲渡先の選定理由、譲渡金額

株式の譲渡先としましては、あらゆる可能性を模索し選定にあたってまいりましたが、前記「1.現時点における経過」にあるような疑義が生じている状況から、譲り受けていただける会社、個人が出ず選定が難航いたしました。最終的な結果、当社取引先株式会社ディフェント代表取締役である朝倉久雄氏にW社を取り巻く状況を説明の上、交渉しましたところ、長年の当社との信頼関係もあって株式譲り受けを受諾いただきました。譲渡価格につきましては、当社の調査によれば、W社は多額の損失を計上している財政状態であり、予測される将来キャッシュ・フロー等を加味した実質的価値を判定し、1円といたしました。

## 6. 譲渡の日程

- |            |           |
|------------|-----------|
| 平成21年1月22日 | 取締役会決議    |
| 平成21年1月22日 | 株式譲渡契約書締結 |
| 平成21年2月12日 | 株式譲渡(予定)  |

上記予定につきましては、譲渡承認手続きが完了しない場合、もしくは社内調査委員会の調査の進捗次第では、譲渡先との協議によって別途定めた日に変更となります。

## 7. 本件譲渡に伴う特別損失について

本件譲渡に伴う特別損失として、W社の株式売却損として、連結で149百万円を見込んでおります。

## 8. 今後の見通し

本件に伴い、当社連結決算に及ぼす影響を含め、平成21年3月期通期の業績予想の修正を行う必要がありますが、現在精査中であり、見通しが明らかになり次第お知らせいたします。

また、本件に係わるその他の情報につきましては、さらに調査を進め、内容が判明し次第、開示させていただきます。

以上